

# 広岡よしき通信



「夢・笑顔・元気いっぱい寝屋川市」

平成22年8月号

## Yoshiki's News Letter Vol. 5



### Profile

廣岡芳樹  
(ひろおか・よしき)  
56歳

昭和29(1954)年  
5月10日  
寝屋川市高宮に生まれる

・寝屋川市立東小学校  
・寝屋川市立第一中学校  
・大阪府立寝屋川高校  
・大阪市立大学経済学部  
卒業

### 《職歴等》

・四條畷市役所勤務  
(昭和54年4月)

(人事・財政・福祉・  
国民健康保険・企画  
を担当)

・四條畷市役所退職  
(平成18年3月)  
元企画調整担当課長

・寝屋川市消防団員 21年

### 《趣味》

読書・雅楽・ツーリン  
グ・骨董鑑賞・地震研  
究等

## 今任期の最終年度がスタート

平成22年5月1日から今任期の最終年度が始まりました。初心を忘れずに、これまでの3年間で振り返りながら何事にも取り組んでいきたいと思えます。5月の臨時会で議会の新しい体制が整いました。私は、今年度の所属委員会は文教常任委員会であり、委員長に就任しました。これまで所属していた総務・厚生・建設水道の各常任委員会については市役所職員時代に関わったことがありましたが、教育関係については全くの素人であります。また、委員会の運営についても全責任を負わなければならないことから、大変身の引き締まる思いであります。何事も一からの勉強のつもりで取り組み、寝屋川市の教育行政の充実に貢献できるよう頑張ってまいります。

### 【今期の役職】

- ① 文教常任委員会委員長
- ② 枚方寝屋川消防組合議会議員(議会運営委員会委員)  
この議会は以前から何度も傍聴をしていました。また、消防団員を21年間経験してきましたので、これら経験を活かすことができると思っています。
- ③ 総合計画審議会委員  
前年度から引き続き総合計画審議会委員として第5次寝屋川市総合計画の策定に取り組んでいます。総合計画試案の中間答申がまとまり、ハブリックコメントが実施されています。
- ④ 土地開発公社顧問  
土地開発公社の顧問は3回目になり、同公社の役割についても、今後、議論をしていかなければなりません。
- ⑤ 会派会計責任者  
前年度から引き続き会派会計を担当します。

編集&発行: 寝屋川市議会議員 廣岡芳樹事務所 〒572-0806 寝屋川市高宮1丁目12番16号

tel&fax: 072-821-4657, mail: hiroyoshikou@cwk.zaq.ne.jp

Copyright (C) 廣岡芳樹事務所 All Rights Reserved.

## 3月議会

3月議会は市長の「平成22年度市政方針演説」を受けて、各会派から代表質問が行われました。私が所属する会派の代表質問の作成については、私も部分的ではありますが関わっています。また、一般質問は行われません。

私が所属する建設水道常任委員会は3月16日と17日に行われました。審議事項は景観条例の制定、平成22年度寝屋川市一般会計予算のうち「土木費」、公共下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算及び市道の廃止・認定についてでした。景観条例の制定は寝屋川市の良好な景観に関して基本となる事項を定めることを目的にした条例です。さまざまな規制もあることから慎重な運用が求められます。また、みんなのまち基本条例との整合も必要なことから、これらの観点を中心に、かなり突っ込んだ質疑をしました。

新規条例の制定についての手続き上の問題も多々あり厳しく指摘をしました。我が会派の委員からも厳しい意見が出され、詳細な審議が行われました。原案には賛成をいたしました。指摘事項については十分な取組みを求めました。また、各当初予算についても詳細な質疑を行い、両日ともに午後6時を過ぎるまで審議を行いました。なお、委員会での質疑内容の詳細については、後日、寝屋川市のホームページ「会議録の閲覧・検索」サイトで確認することができます。

## 5月臨時議会

1ページでも役職の報告をしましたが、5月の18日から20日までの3日間、5月臨時議会が開催され、報告4件、議案4件が提案されました。報告は議会を開く暇がなかったことによる条例改正や補正予算についての市長の専決処分でした。議案は市税条例の改正や平成22年度の一般会計補正予算などでした。この議会ではこれらの報告や議案については委員会に付託することなく、本会議で審議されました。

私は、国民健康保険条例の一部改正、平成21年度一般会計補正予算、平成22年度一般会計補正予算について質疑を行いました。そのうち、平成22年度の一般会計補正予算の内容は、寝屋川市駅前に建設中の地域交流センターに係る事業費であり、平成21年度補正予算の編成が検討不足による結果だと考えており、「予算編成についての技術論」について財政担当部長と議論しました。

国民健康保険条例の一部改正の主な内容は、非自発的失業者（望まずに解雇された方）の保険料の負担を軽減するということでした。その内容については質疑をしなかったのですが、今後の国民健康保険料の決め方等について質疑をしました。5月26日に開催された「国民健康保険運営協議会」に対して、今後の国民健康保険料限度額の改正が諮問され、現在、審議が行われています。

## 第二京阪道路について

### 利用状況等

6月議会の一般質問で第二京阪道路の影響について質問をしました。答弁では、開通一月後の高速道路部の通行量は1日あたり約33,000台で、側道の通行量は約26,000台で、近隣の各主要道路の通行量は約2,000台減少しているとのこと。側道の事前の予測通行量は1日あたり28,000台であったことから、かなりの通行量となっており、排気ガス等の影響が心配されます。今後も速やかな情報公開を求め、市を窓口事業者の対応を強く求めます。



### 議会質問と答弁

市立楠根小学校と第7中学校は第二京阪道路に隣接していることから、児童・生徒に対する環境面での配慮をこれまで、何度も求めてきました。第二京阪道路が供用開始されたことから、騒音や大気について開始前後のデータについて質問をしました。

答弁では騒音については、前後の差はほとんどなく、大気については、測定局の新設にともない、両校付近でのデータ収集を行っていないので、前後の比較はできないとのことでありました。

私は、測定局が両校からかなり離れているので、環境部局と教育委員会事務局が常に連携を取り、児童・生徒の体調面に万全を期すことを求めました。

## 財政問題研究会

議長の発議により平成21年7月に設置された財政問題研究会は7月3日に第1回会議を開催し、以降27回の検討を重ね、平成22年5月10日に会議結果報告『寝屋川市の財政問題に関わる現状と諸課題について』を議長に提出しました。この報告書の調整においては、各会派を代表する4名の議員(私もメンバーでした)により、調整会を3回開催し、報告内容について検討を行いました。なかなか調整がつかず、私は会長・副会長から示された素案に対して、これまで研究会で検討してきた事項を踏まえた修正案を提出しました。この修正案や他の委員から出された案を基に新たな素案が策定され、研究会で再度の議論を経て、正式に報告書にまとめられました。項目は以下のとおりです。具体的な内容については、「市議会のホームページ」で閲覧できます

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財政問題収支計画について</li> <li>2. 本市財政の課題と方向性について</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 人事政策について</li> <li>4. 国民健康保険について</li> <li>5. 各計画との関連について</li> </ol> |
|---|--|

具体的には総合計画等との整合についても十分に記載されており、研究会での議論を十分踏まえた、満足のいく報告書であると思っています。

## 政務調査費報告



※ 似顔絵は横浜ランドマークタワー9階展望フロアにある似顔絵シの川原田正明さんに描いてもらった。

地方分権が進むにつれて、地方議会が担う役割がますます重要になり、議会の審議能力や政策立案能力の強化などが求められたことから、議会における会派または議員の調査研究費等を助成するものです。寝屋川市では議員一人につき月額8万円が支給されています。政務調査費の交付を受けた会派または議員は、**収支報告書を翌年度の4月30日までに議長に提出しなければなりません。**寝屋川市議会では「寝屋川市議会政務調査費の交付に関する使途基準細則」を平成20年7月に定めており、各会派及び議員は、この基準に従って「政務調査費」を支出しています。

「政務調査費収支報告書」には、各経費の支払明細書に領収書を必ず添付することになっています。この報告書は、事務的な処理が終了した段階で、誰でも閲覧することができます。しかし、政務調査費の費用対効果の検証については客観的な基準は今のところありません。私は、政務調査費を充当した事項については、一般質問や政策提言に必ず反映していかなければならないと考えていますので、調査した内容を、できる限り自身の論文や調査報告、また一般質問に活かしてまいりました。私の平成20年度と平成21年度の使途の状況については、下表の通りです。

項目	平成21年度支出額	平成20年度支出額	備考
研究研修に係る経費	20,000	112,000	研修会参加費等
調査に係る経費	92,502	0	先進地行政視察経費
資料に係る経費	148,753	132,955	書籍・情報誌購入費
広報・広聴に係る経費	53,900	28,146	活動報告書作成
人件費等に係る経費	90,000	90,000	情報管理に係る人件費
事務所に係る経費	103,731	106,489	備品、事務用品費
その他の経費	0	0	
合計	508,886	469,590	
返還額	451,114	490,410	

「寝屋川市の情報公開をすすめる会」が発行した、「平成20年度政務調査費についての報告書」を受け取りました。かなり詳細にわたって分析されています。この報告書はすべての「平成20年度政務調査費収支報告書」を対象にしたものです。私自身、政務調査費の支出については細心の注意を払って支出・報告したつもりでしたが、検討しなければならない項目もありました。今後、改めて政務調査費の在り方や使途について再検討をしていきたいと考えています。